

別表第1 評価領域及び行動プロセスに関する着眼点

※「着眼点」は、職務を遂行する上で通常必要とされる水準を例示したものである。

主幹教諭（高等学校教諭）

評価領域		着眼点
I 学校の組織的な運営		<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長及び教頭の指示を受け、その職務を整理し、校長等が判断・処理できるようとりまとめている。</li> <li>・企画委員会等の構成員として学校運営に積極的に参画している。</li> <li>・学校運営が組織的、機動的になされるよう、教職員の共通理解の下、積極的に分掌間の調整等に努めている。</li> </ul>
II 教科指導・生徒指導等	教科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の充実を図るため、常に教材研究に努めている。</li> <li>・適切な指導計画のもと、年間を通じて計画的に授業を進めている。</li> <li>・生徒一人一人の学習状況を把握し、学力向上のための支援を行っている。</li> <li>・指導と評価の一体化が図られ、学習指導の工夫・改善に努めている。</li> </ul>
	生徒指導等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談的な対応に心がけ、生徒理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。</li> <li>・生徒の実態に応じ、進路選択ができるよう適切に支援している。</li> <li>・行事等を通じて、生徒の自主性・自律性を育てる指導を行っている。</li> <li>・家庭や地域と情報交換を行い、連携して指導している。</li> </ul>
III 担当する校務等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当する校務の課題を的確に認識し、改善に向けて組織的、計画的に取り組んでいる。</li> <li>・教職員とのコミュニケーションを図り、適切に指導・助言している。</li> <li>・開かれた学校づくりに意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。</li> </ul>
チームワーク行動		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。</li> </ul>